

13人の  
子ども議員が  
登壇

# 「子ども議会」に参加して 議論することの 重要性を肌で実感



令和4年12月26日に町役場 本会議場において、「玉村町子ども議会」が開催されました。各小中学校の代表が、本番の議会さながらに堂々と質問や提言を行い、厳粛な雰囲気の中で質疑されました。「子ども議会」に対するアンケートでは、全員が「続けたほうがいい」と答えており、議会活動の重要性を肌で感じてくれたように思われました。

## 子ども議員からの質問

自分たちの募金が、「音声誘導の信号機に使われる」というように、結果が地域に反映される、募金活動をしてはどうか。

玉村町のSDGsへの取組として、特に「住み続けられる町づくり」への取組について、どんなことをしているのかわかりたい。

田んぼや水路ごみが目立つ。いずれは川も海も汚れてしまう。ごみ箱の設置やごみ拾いの計画は立てられないか。

文化交流のために、町内の外国人の方が、文化センターなどで、祖国の文化を発表する場や機会を作ってはどうか。

自分の住んでいる玉村町のいいところを、一人でも多くの方に知ってもらえるよう、町の魅力を動画配信してはどうか。

買い物袋などをバイオマスプラスチック製にするなどして、町を挙げて循環型社会の実現に取り組んではどうか。



## 子ども議会に参加した感想は？

玉村町の課題をクラスや学年の人達と話し合って決め、うまく伝えられるようにたくさん考えました。私たちの提案に対してすごく分かりやすい答弁でした。玉村町が安全で良い町になったらいいと思います。

全生徒にアンケート調査を行い、学校全体が一丸となって意見を完成させることができました。議長を急遽務めることになり、静かな雰囲気に緊張しましたが、とても良い経験ができました。

緊張していたけど、学校の代表として堂々と発表できたと思います。自分とはまた別の意見などを聞くことができ、良い経験になりました。この経験を校内放送などで発表して伝えていきたいです。

質問を考えたりすることが大変でしたが、なかなかできないことなので面白かったです。議会の様子を撮影した動画を朝の会などで放送し、みんなに伝えられたらと思います。

子ども議会での提案をクラスで考えました。とても活発な学級活動でした。町のいろいろな取組を知ることができ、とても貴重な経験になりました。子ども議会の一通りの流れをクロームブックで発表していきたいです。